

伯耆の国 基本理念
「個々の生活観を尊重し、
豊かな心と安心・信頼の
地域づくりを目指して」

げやき



それぞれユニットで採れた野菜を収穫しました。
調理して美味しく頂きました。



グループホームおちあい 収穫祭&運動会



かりんユニットで運動会をしました。
玉入れ・ボール運び・お菓子釣りをしました。
お昼にはお弁当を食べました。



さくら保育園

* 先日、地域の方からお借りしている畑で芋掘りをしました。毎年、春に苗を植え、暑い夏、水やりをみんなで頑張って、育ててきた芋の収穫は喜びも大きかったです。芋が出てくるたびに「やったー」「おおきいねー」「すごいねー」などとお友達と一緒に、一生懸命に掘る姿が見られました。11月には収穫したさつまいもでクッキングや、焼き芋をして、おいしくいただきたいと思います。



ム ゆうらく

赤白はちまきを着用して、雰囲気十分な中、2階ユニット合同運動会を開催しました。

皆様1つ1つの競技を楽しんで、大いに盛り上がりました。



リクエストがあれば栄養科長（調理長）による出張にぎり寿司を行っています。目の前で握るお寿司の味は格別なのか、皆さんたくさん召し上がって下さいます。



午後は自由に過ごしておられます。楽しみ方は様々ですが、皆様の笑顔が素敵です。



お茶を楽しまれる方



テラスのプランター栽培の野菜を収穫

櫛の落ち葉を掃除して下さる方

月に1回、昼食をお弁当箱でお出ししています。天気の良い日は、テラスで食事を楽しまれる姿もあります。お弁当に詰めると、普段よりたくさん食べられる方もあり、いつも以上に会話が弾みます。



つくし保育園

10月18日に遠足に行きました。

1・2歳児は土手を歩いてキャリーリー周辺まで。ススキやネコジャラシなど草花を摘んだり、草の中追いかけてっこしたりして笑顔いっぱい。

3・4歳児は北方や長田周辺の山や畑を散策。畑の野菜や花を見つけ名前を教えてもらったり、触らせてもらったり、またドングリもたくさん拾いました。

5歳児はバスに乗って米子城跡まで頑張って登り、海や境港、大山も見える景色を堪能。また途中にある内膳丸跡は椎の実の宝庫。袋にいっぱい拾い、湊山公園へ。遊具で遊んだり、サルを見たり思う存分楽しんでいました。

また、子どもたちの一番の楽しみはおうちの方に作ってもらったお弁当を友達と一緒に食べること。おにぎりにかぶりつく姿は笑顔炸裂でしたよ。



特別養護老人ホーム

9月15日ゆうらくにて敬老会を行いました。今年は感染対策を考慮しての式典とお茶会も開かれました。一年で一番の大イベント。いつもより賑やかな雰囲気です。特別な日を楽しんで頂きました。



まずは
お菓子
から…♪



お点前
頂戴
いたします
♪



祝!! 88才

お昼ご飯はお祝い膳★
お品書きを見ながら舌鼓。



ゆうらく最長寿
105才

いつまでもお元気で

秋の訪れを感じ気分転換を兼ね施設周辺の散歩へ出掛けました。道端の花や風の冷たさを感じ秋の訪れを感じてもらえたのではと思います。



食事委員会

旬のフルーツを使ったフルーツバイキングを行いました。フルーツ盛り合わせや、飲み込みや咀嚼に不安のある方も食べやすいように、ムースやプリンも用意してたくさん食べて下さいました。南部町産のいちじくが人気でした。



しあわせデイ

昔、職場が同じで仲良かった方たち。ここで久しぶりの再会をされました。「〇〇さんか、久しぶりだがん」と喜ばれる姿がみられました。会うと昔の話に花を咲かせておられます。「ここに来てよかったわ」と話されていると職員も嬉しく思います。



デイサービスセンター いこい荘

デイサービスいこい荘では、レクリエーションの時間に秋の味覚、さつま芋を利用者様と作成しました。遠くから見ると本物のようなさつま芋！！収穫した！？さつま芋と共に一緒にパチリ！



ゆうらくデイ

9月7日から27日までの間「キナルなんぶ」での作品展示に参加しました。アクティビティーの一環で余った布を利用して作ったタペストリー、絵手紙、扇の壁飾りなど皆さんの力作が勢揃いしました。



介護・保育スタッフ募集

私たちと一緒に働きませんか？

社会福祉法人伯耆の国では、職員を募集しています。ご利用者さま、保護者さまに安心して生活していただけるよう職員一同笑顔を大切にしています！

雇用形態

正社員／パート職員

仕事内容

介護士：生活介助及び介護業務

保育士：保育業務全般、又はその補助

詳しくは、こちらまでご連絡ください。

電話0859-66-2253 採用担当まで

編集後記

「あらく久しぶりだね、元氣？」

先日、車椅子に座っている女性に昔からの友人のようには話しかける同僚の姿を目にしました。

ごく自然に女性のそばに腰を落とし、柔らかく微笑みながら女性の手を握り、握った手をゆっくりさすりながらおしゃべりが始まりました。

「私たち長い付き合いだよね、あの時はこうだったよね」

楽しそうなおその雰囲気に見ているこちらもとてもあたたかい気持ちになりました。私たちはこの中山間地域で社会福祉事業を営んでいます。

少子高齢化の進んでいるこの地域で、私たちの存在意義は今後ますます色濃くなっていくように思います。

その中で、私たちはそれぞれの立場で、地域の人々にそっと寄り添える存在でありたい、その積み重ねがこの地域を豊かにし、幸せを育んでいくのではないのでしょうか。

私の同僚の姿に、この地域の豊かさを感じました。